

# 平成29年残雪期の特徴

至仏山の積雪は例年に比べ多いですが、今後の雪解けの状況にご注意下さい。

## 【全域が植生保護区域】

○至仏山の周辺は、全域が植生保護区域です  
(国立公園特別保護地区、群馬県自然環境保全地域)

## 【残雪の薄い場所には立ち入らない】

○残雪の薄くなったところや、地面の露出した部分には、「乗らない・立ち入らない」ようお願いします。

## 【足跡やシュプールを安易に信じない】

○悪天候・視界不良時は行動を控えるとともに、先行者の足跡やシュプールがあっても安易に信じず、ルート判断は自分の判断・責任で行いましょう。

## 【携帯電話は「通じない」】

○至仏山周辺は、概ね携帯電話は通じません。

## 【携帯トイレを持参しましょう】

○至仏山には、トイレがありません。

## 【GW以後の残雪期は閉鎖】

○至仏山登山道は、残雪期の植生保護のため、原則5月7日～6月30日まで閉鎖となりますが、H29年残雪期は、残雪量が多いことから5月8日の閉鎖としています。しかし、今後の雪解け状況で変更となる可能性もあります。

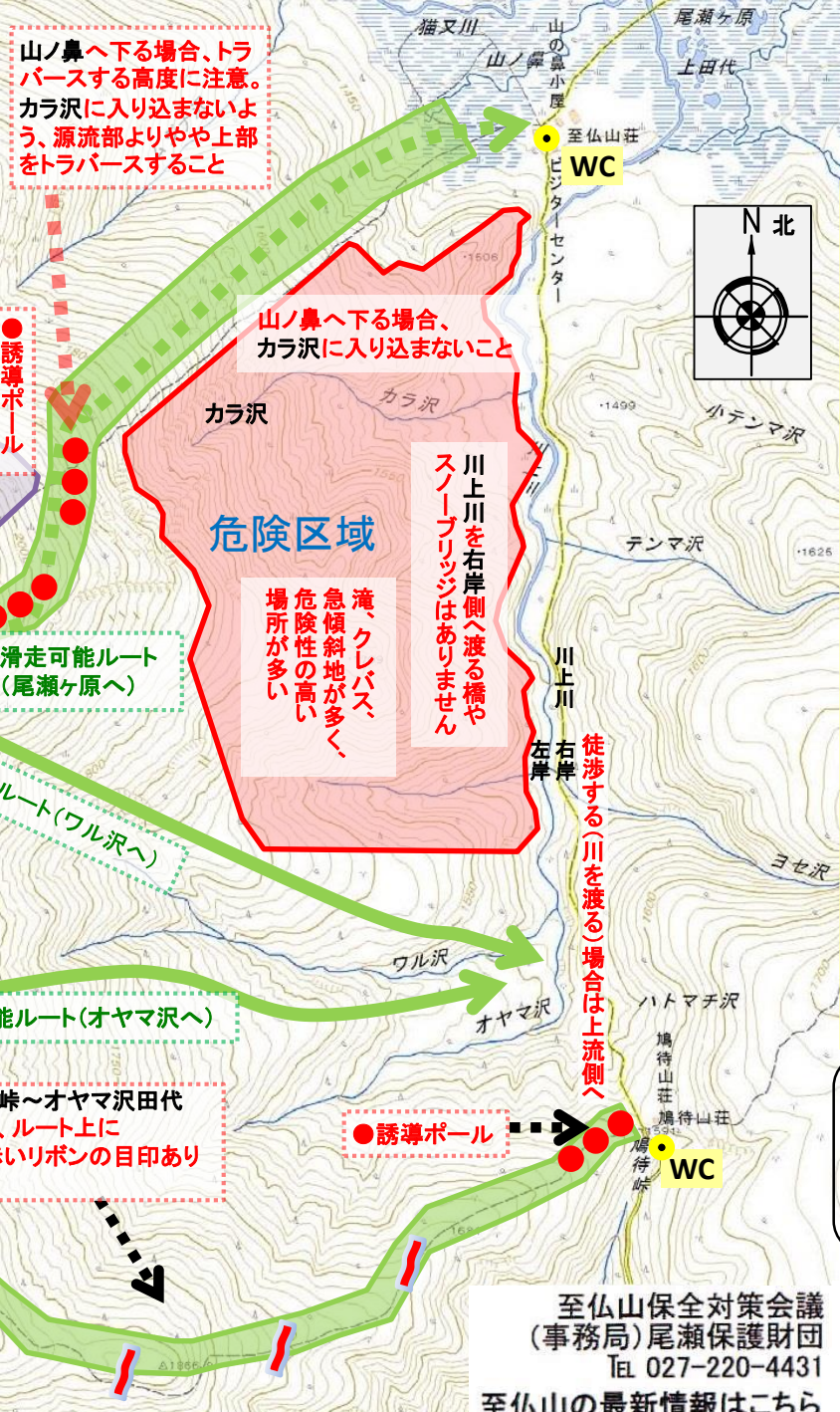
このチラシの内容は残雪状況の変化に応じて、予告なく変更することがあります。最新情報を御確認ください。



凡例	
	登山ルート(夏山登山道)
	重点植生保護区域 植生保護のため、立ち入らない
	危険区域 危険のため、立ち入らない
	立入可能区域 (残雪あり、ルート誤り注意)

至仏山保全対策会議  
(事務局)尾瀬保護財団  
TEL 027-220-4431  
至仏山の最新情報はこちら

平成29年残雪期  
4月28日～5月7日(※)  
至仏山入山の皆様へ  
※詳しくは右下「GW以後の残雪期は閉鎖」をご覧ください。



山ノ鼻へ下る場合、トラバースする高度に注意。カラ沢に入り込まないように、源流部よりやや上部をトラバースすること

山ノ鼻へ下る場合、カラ沢に入り込まないこと

川上川を右岸側へ渡る橋やスノーブリッジはありません

滝、クレバース、急傾斜地が多く、危険性の高い場所が多い

徒渉する(川を渡る)場合は上流側へ

重点植生保護区域  
高天ヶ原

危険区域

滑走可能ルート(尾瀬ヶ原へ)

滑走可能ルート(フル沢へ)

滑走可能ルート(オヤマ沢へ)

鳩待峠～オヤマ沢田代には、ルート上に赤いリボンの目印あり

これから定期的に実施する点検で、雪が少なくなり地面の露出が見られ始めたら、閉鎖となります。尾根の南側の斜面にルートを変更すること

稜線より西側のハイマツ帯に入らないこと

オヤマ沢田代から悪沢岳方面へ迷いやすい。赤いリボンの目印に沿って行動して、鳩待峠方面へ下るルートを見失わないよう注意。

国土地理院 標準地図(25000)